



じもと

HOLDINGS

2018.9

MINI DISCLOSURE

じもとホールディングスミニディスクロージャー誌



きらやか銀行



仙台銀行

PROFILE (平成30年9月30日現在)



本社所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号 022-722-0011(代表)
設立年月日 平成24年10月1日

資本金 170億円
上場取引所 東京証券取引所
ホームページ <https://www.jimoto-hd.co.jp/>



本店所在地 山形市旅籠町三丁目2番3号
電話番号 023-631-0001(代表)
設立年月日 平成19年5月7日
資本金 227億円
預金・譲渡性預金 12,891億円
貸出金 10,100億円
従業員数 998人
店舗数 117カ店(県内98カ店、県外18カ店、その他1カ店)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での店舗
統合による実質店舗数は63カ店(県内46カ店、県外
16カ店、その他1カ店)。
ホームページ <https://www.kirayaka.co.jp/>



本店所在地 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
電話番号 022-225-8241(代表)
設立年月日 昭和26年5月25日
資本金 224億85百万円
預金・譲渡性預金 10,470億円
貸出金 7,146億円
従業員数 757人
店舗数 72カ店(注)
(注) ブランチ・イン・ブランチ(店舗内店舗)形式での
店舗統合による実質店舗数は58カ店(うち出張
所3カ店)。
ホームページ <https://www.sendaibank.co.jp/>

株式会社じもとホールディングス社長
株式会社きらやか銀行頭取

栗野学



株式会社じもとホールディングス会長
株式会社仙台銀行頭取

鈴木隆



ごあいさつ

平素より格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

本年4月より、「顧客本位の本業支援」「統合効果発揮」の2つをキーワードとする、3年間の新中期経営計画がスタートいたしました。

じもとグループの理念として“地元中小企業において本業支援を本当に必要としているお客さまをご支援すること”を掲げ、その目指すべき姿は“本業支援でお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展、地方創生、復興に貢献すること”としております。

弊社では、「顧客本位の本業支援」による、じもとグループ独自の“本業支援を核としたビジネスモデルの確立”、また、グループの強みを最大限に活かす「統合効果発揮」に向けた取り組みにより、これまで以上に信頼される金融グループとして成長できるよう取り組んでまいります。

本誌では、平成30年9月期のグループ業績と、じもとグループが総力を挙げて取り組んでいる「本業支援」の活動についてご紹介しておりますので、是非ご高覧ください。

皆様方におかれましては、今後とも、じもとグループに更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



じもと
HOLDINGS

CONTENTS

会社概要	巻頭
ごあいさつ	01
中期経営計画	02
宮城と山形をつなぐ マッチング事例	04
トピックス	
じもとホールディングス	06
業績ハイライト	
じもとホールディングス	07
トピックス	
きらやか銀行	08
仙台銀行	10
わたしたちのじもと紹介	
きらやか銀行	12
仙台銀行	13
業績ハイライト	
きらやか銀行	14
仙台銀行	16
株主の皆様へ	巻末

我々は“なぜ”
「本業支援」に
取り組むのか？

- 必要とする支援を受けられていない
中小企業の皆さまの力となるため
- 地元の復興ならびに地方創生に
貢献するため

 きらやか銀行  仙台銀行

キーワード
Keyword

顧客本位の
本業支援

統合効果発揮

計数計画と経営指標

	30/3期(始期)	31/3期	32/3期	33/3期
コ ア 業 務 純 益	44億円	44億円	50億円	62億円
当 期 純 利 益	34億円	22億円	30億円	40億円
コ ア O H R	85.27%	85.04%	83.39%	79.95%
預 金 平 残	23,131億円	23,350億円	23,585億円	24,020億円
貸 出 金 平 残	16,689億円	16,992億円	17,436億円	17,955億円
自 己 資 本 比 率	8.70%	8.53%	8.41%	8.35%
顧 客 向 け サ ー ビ ス 業 務 利 益 (始 期 比 増 加 額)	▲28億円 (-)	▲19億円 (+9億円)	▲11億円 (+17億円)	1億円 (+29億円)

※顧客向けサービス利益 = 貸出残高×預貸金利回り差 + 役務取引等利益 - 営業経費

持続可能なビジネスモデルの確立

～「本業支援」を核とする～

1 中小企業成長戦略

- ・本業支援を真に必要としているお客さまのもとへ足を運び、寄り添う
- ・お客さまの成長と喜びを通して地域経済の発展と地方創生に貢献

2 非金利収入増加戦略

- ・企業の経営戦略サポート、コンサルティングビジネスの強化

3 仙台地区営業戦略の強化

- ・じもとグループのノウハウ、情報を活かした仙台地区営業強化と顧客基盤構築

効率化・合理化

～グループ業務運営態勢再構築～

1 本部組織の抜本的見直し、店舗網見直し等

- ・グループ全体で組織・業務運営態勢の更なる効率化・合理化

2 事務集中業務の集約化

- ・更なるシナジー効果の発揮

じもとグループの目指す姿

- ・「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に貢献していく。
- ・グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる。
- ・グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する。

“ほしかったもの・やりたかったこと・悩みごと”を じもとグループが一丸となって支援いたします!!

宮城と山形をつなぐマッチング事例

—じもとホールディングスの本業支援—

きらやか銀行のお客さまである有限会社玉貴様は、同社が力を注いでいる四季折々の節句料理をさらに充実させたいと考えておられました。

一方、仙台銀行のお客さまである株式会社石渡商店様も、主力商品であるフカヒレの販路拡大を検討されており、「じもとグループ」のネットワークを通じて両社の経営ニーズをタイムリーにつなぐことで、取引開始に至りました。

おもてなし料理を提供する企業



有限会社 玉貴 様



七夕料理に宮城の
食材を使いたい

代表取締役社長
阿部 誠様



きらやか
銀行

情報

ビジネス
マッチング情報
データベース

商談
成立

フカヒレ製品を製造する企業



株式会社 石渡商店 様



フカヒレの販路を
拡大したい

代表取締役専務
石渡 久師様

情報

仙台
銀行

有限会社 玉貴

代表取締役社長 阿部 誠 様

自然あふれる西川町にて、一年を通じ山菜やきのこなどの新鮮な食材を使ったおもてなし料理をご提供しております。五節句文化の発信と継承に取り組んでおり、「ひな膳料理」(2月～4月初旬)、「七夕の節句料理」(夏季限定)には特に力を入れております。七夕料理には宮城の食材を一品ずつ加えたいとの想いがあり、仙台銀行取引先の株式会社石渡商店様を紹介していただいたのはそのような想いの矢先であったため非常に感謝しております。早速、「フカヒレの葛煮」を今夏の七夕料理に使わせていただき、現在も継続した取引をしていただいております。

じもとホールディングスには、今後も山形・宮城の架け橋となり、地元企業の繁栄に尽力いただけるよう期待しております。

担当者の声



有限会社玉貴様は、四季折々の料理、文化や風習を大切にしておられます。七夕料理には宮城県の新しい食材を取り入れたいのご意向を伺い、ビジネスマッチングを通じて新メニュー開発のお手伝いをすることができました。

今後もじもとホールディングスのネットワークを活用してお客さまのお役に立つ本業支援を行ってまいります。

きらやか銀行 開沢支店 椎名 高史 課長



株式会社 石渡商店

代表取締役専務 石渡 久師 様

弊社は、サメの水揚げ日本一を誇る気仙沼漁港から世界的にも品質の高いフカヒレ製品をより多くの方々に知っていただきたいとの想いから、原料の調達から製品の製造にいたるまで、妥協することなく事業を推進しております。

今回、仙台銀行より有限会社玉貴様をご紹介いただき、商談をさせていただきました。弊社製品を玉貴様のこだわりのお食事の中の一品としてご利用いただけたことをとても嬉しく感じております。今後とも、日本食の繊細な部分を邪魔せず、より引き立たせる食材の一つとしてお客さまに喜んでいただけるものづくりを目指してまいります。

今後も宮城、山形の架け橋となる本業支援に大変期待しております。

担当者の声



株式会社石渡商店様は、東日本大震災で事務所・工場・倉庫が全壊するなど大きな被害を受けました。平成24年8月に新工場での操業を開始し、世界で通用する中華食材であるフカヒレのほか、オイスターソース、XO醤などを取り扱っております。

山形のお客さまの食に対する高いニーズと当社の素晴らしい商品をビジネスマッチングで繋ぐことができ、嬉しく思います。

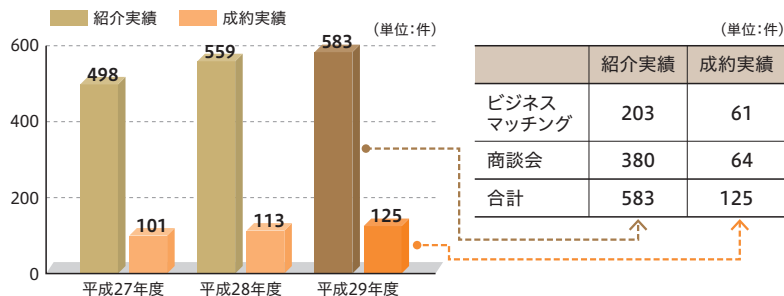
仙台銀行 気仙沼支店 門間 博孝 代理

ビジネスマッチング・商談会の実績

じもとグループは、宮城と山形をつなぐビジネスマッチングに積極的に取り組んでおります。

じもとグループの平成29年度ビジネスマッチング・商談会の実績は、紹介実績が583件、成約実績が125件となりました。

このうち、両行間におけるビジネスマッチングの紹介実績は203件となり、前年比約1.5倍の61件が成約となりました。



きらやか銀行・仙台銀行の事務集中業務統一

じもとグループでは、グループのさらなる「統合効果発揮」に向けた施策として、平成29年10月より、きらやか銀行・仙台銀行の事務集中部門の業務を統一する取り組みを開始いたしました。

平成30年9月末までに、10項目の業務の集約が完了し、「手形期日管理」、「債権書類保管」等の業務はきらやか銀行事務センターで一元的に行う体制となりました。

じもとグループでは、効率化・合理化により創出した経営資源を総動員し、これまで以上にお客さまのもとへ足を運び本業支援を実践してまいります。



債権書類保管



きらやか銀行事務センター

「日本酒類販売株式会社とのビジネス商談会」を開催

じもとグループでは、平成30年9月、「日本酒類販売株式会社とのビジネス商談会」を宮城県・山形県の2会場で開催いたしました。

本商談会は、じもとホールディングスと東京きらばしフィナンシャルグループ（旧東京TYフィナンシャルグループ）が、平成28年11月に締結した「本業支援に関する連携協定」に基づき、きらばし銀行の協力を得て開催したもので、きらやか銀行、仙台銀行の取引先等合計22社が参加しました。

じもとグループでは、今後も、様々なネットワークを活用し、地元企業のさらなる成長・発展に向けた本業支援に取り組んでまいります。



日本酒類販売株式会社とのビジネス商談会

じもとホールディングス連結業績

(単位:百万円、%)

	30年9月期	29年9月期	前年同期比	増減率
	連結経常収益	21,398	21,224	173
経常利益	1,760	1,502	257	17.1
親会社株主に 帰属する 中間純利益	1,242	1,183	58	4.9

平成30年9月期の連結業績は、連結経常収益は213億98百万円、経常利益は17億60百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は12億42百万円となりました。

きらやか銀行・仙台銀行(単体)の2行合算

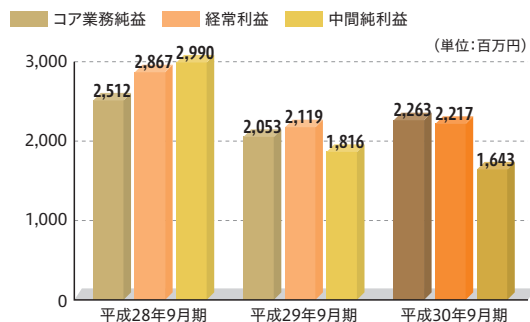
(単位:百万円、%)

	2行合算			
	30年9月期	29年9月期	前年同期比	増減率
経常収益	19,080	18,679	401	2.1
業務粗利益	15,091	14,746	345	2.3
経費 (除く臨時処理分)	12,670	13,102	△431	△3.2
コア業務純益	2,263	2,053	209	10.2
経常利益	2,217	2,119	98	4.6
中間純利益	1,643	1,816	△173	△9.5
貸出金	1,724,732	1,700,565	24,166	1.4
預金等 (譲渡性預金を含む)	2,336,174	2,375,585	△39,410	△1.6
有価証券	540,320	627,480	△87,159	△13.8

2行合算の経常収益は、前年同期比4億1百万円増加の190億80百万円となりました。

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、その他業務利益(国債等債券損益除く)の増加に加え、経費の減少等により、前年同期比2億9百万円増加の22億63百万円となりました。

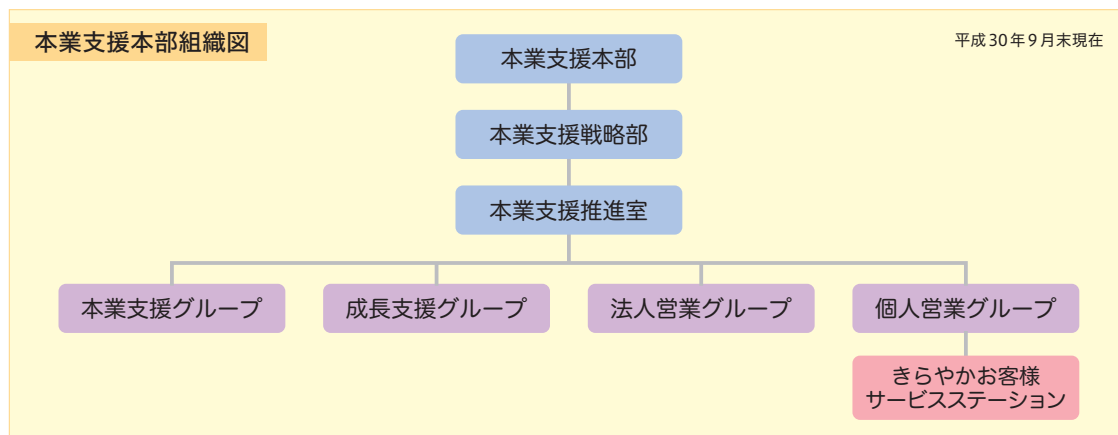
経常利益は、前年同期比98百万円増加の22億17百万円、中間純利益は、前年同期比1億73百万円減少の16億43百万円となりました。



本部組織の再編

平成30年6月26日付で本部組織の再編を実施し、法人業務を統括する部署、個人業務を統括する部署、および中小企業のお客さまの事業再生支援を行う部署の3部署を統合した「本業支援戦略部」を配下に置く本業支援本部体制といたしました。

今回の組織再編は、経営戦略の柱である本業支援のスピード化や、支援能力のさらなる強化を図るものであり、今後地元「中小企業」と「そこに働いている従業員の皆さま」から喜んでいただける銀行を目指してまいります。



上山市と「地方創生の連携に関する協定」を締結

平成30年6月、地域経済の発展、地方創生に寄与することを目的として、山形県上山市と「地方創生の連携に関する協定」を締結いたしました。本協定は、「企業誘致」、「空家等及び空き地の利活用」、「産業振興及び企業・事業所・創業者の支援」など、幅広い活動に関する連携・協力を想定しており、双方が保有する情報を総合的に共有することで、地域活性化の推進を図るものです。当行は上山市を含め、これまでに4つの自治体と連携協定を結んでおります。



上山市との連携協定締結式

「きらやかじもと応援私募債」の発行

本業支援の一環として「きらやかじもと応援私募債」を発行しております。当私募債は、当行が発行時に受け取る手数料の一部を優遇し、優遇分を原資に、企業さまが地域の学校や公益法人等に物品などを寄贈することができ、企業さまの地域貢献活動を後押しできるものであります。取扱いを開始した平成30年7月から9月末までの間に、計7件の「きらやかじもと応援私募債」を発行しております。寄贈先からもたくさんの喜びの声をいただいております。これからも、本業支援を軸とする地元企業の支援、ならびに地元地域の活性化に取り組んでまいります。

「きらやか事業承継セミナー」の開催

平成30年5月、当行ときらやかコンサルティング&パートナーズ（KCP）は、近年ニーズが高まっている事業承継を支援する活動の一環として、「きらやか事業承継セミナー」を開催いたしました。本セミナーは、外部専門家を講師としてお招きし、お取引先企業さまを対象に、事業承継の基礎知識から、今年度改正された事業承継税制の注意点等に至るまで、幅広い知識を習得していただくことを目的に企画したものです。



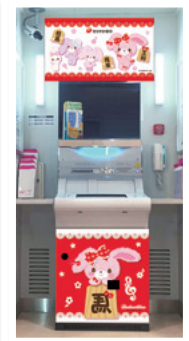
きらやか事業承継セミナー

「ぼんぼんりぼん」デザインの店舗・ATM装飾を実施

平成30年7月より、「仙台泉支店」、「天童南支店」及び「イオンモール天童 ATMコーナー」において、当行のイメージキャラクターである「ぼんぼんりぼん」のデザインを用いた装飾を行いました。地域のお客さまとのコミュニケーションを一層深めるため、それぞれの店舗およびATMコーナーが所在している地域や場所のイメージに合わせた、明るく親しみやすいイメージのデザインを採用いたしました。お近くへお越しの際は、是非お立ち寄りください。



天童南支店



イオンモール天童
ATMコーナー

© 2012, 2018 SANRIO CO., LTD. APPROVAL No. G593086

SBI マネープラザとの共同店舗の運営を開始！ ～東北地区の金融機関で初の試み～

当行は、平成30年11月、SBIマネープラザとの共同店舗の運営を開始いたしました。

当該共同店舗においては、SBI証券の豊富なラインナップを対面でお客さまへご提案することで、資産運用のコンサルティング、アドバイスとともに多様な金融商品、サービスをご利用いただくことが可能です。

当行では、顧客本位のより良い業務運営を実現するため、さらなる商品・サービスの向上に取り組んでまいります。



仙台銀行SBIマネープラザ

仙台銀行SBIマネープラザ

開設場所：仙台市青葉区一番町2-1-1（仙台銀行本店営業部2階）
電話番号：022-212-2083

営業時間：平日9時～15時
取扱業務：金融商品仲介業務

宮城労働局との連携協定を締結！ ～「働き方改革」の推進に向けて～

当行は、平成30年7月、宮城県内で初めて宮城労働局と「働き方改革に関する包括連携協定」を締結いたしました。本協定は、宮城県内の「働き方改革」の推進による地域経済の活性化を目的として、宮城労働局と当行がそれぞれの知見を活かして連携することにより、地域企業の生産性向上や働き方改革の取り組みを支援していくものです。（※）

平成30年10月には、同局と連携し、協定締結後初の取り組みとなる「中小企業のための『働き方改革』セミナー」を開催し、働き方改革関連法の概要やポイント、労働関係の各種助成金や施策等の情報提供を行ったほか、プロフェッショナル人材の活用などについて説明を行いました。

当行は、今後もお取引先の経営課題解決に向けた本業支援に取り組み、地域経済の発展に貢献してまいります。

（※）本協定の参加金融機関：当行、七十七銀行、石巻商工信用組合、古川信用組合、仙北信用組合



協定書の締結

「仙台銀行ファミリーデー」を開催！～ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて～

当行は、平成30年8月、ワーク・ライフ・バランス推進への取り組みの一環として、職員家族に仕事や社会への理解を深めてもらうことを目的とした職員家族向け職場見学会「仙台銀行ファミリーデー」を開催いたしました。

当日は、職員家族23名が参加し、本店ビル内の見学、名刺づくり、名刺交換、札勘体験等を行いました。

当行は、引き続き、働きがいと働きやすさを両立する組織づくりに取り組んでまいります。



ファミリーデー

「宮城の企業発見プログラム」を開催！～地方創生への取り組み～

当行は、平成30年11月、宮城県内の企業・大学等との連携により、県内の大学生等に対して県内企業の事業概要や業務内容等を紹介する「宮城の企業発見プログラム」を開催いたしました。

本プログラムは、地方創生を推進する観点から、県内の大学生等が働く場としての県内企業の魅力を伝え、県内企業への就職率を向上させることを目的としており、今回で3回目の開催となります。

当行は、今後も様々な取り組みを通じて、地方創生に積極的に貢献してまいります。



当行の取り組みについて紹介

「仙台銀行ホール イズミティ 21 ロビーコンサート」へ協賛！～仙台市との連携～

当行は、施設命名権を取得している「仙台銀行ホール イズミティ 21」において、平成30年11月に開催されたロビーコンサートへ協賛いたしました。

コンサートでは、仙台ゆかりの音楽家による演奏が行われ、美しいハーモニーが会場いっぱいに響き渡りました。また、当日は、来場されたお客さまへ、当行よりオリジナルどら焼きをプレゼントいたしました。

当行は、今後も仙台市と連携を図りながら、地域の皆さまの文化活動を支援してまいります。



ロビーコンサート

わたしたちのじもと紹介

じもとの「おすすめ情報」を
じもとの行員が紹介いたします。



長井支店のある街 山形県長井市

長井市は、伊佐沢の久保桜をはじめとする桜の名木や、初夏の白つつじ、6月下旬から7月にかけて咲くあやめなど、季節ごとに様々な花を楽しむことができ、市内のあやめ公園には、長井固有の長井古種も植えられています。また、片道約30.5kmを1時間ほどかけて走る「フラワー長井線」は、車窓から置賜ののどかな風景を望むことができるのでおすすめです。

長井支店は長井駅から近く、市の中心部にあります。地域ナンバーワンの窓口を目指し明るい笑顔と挨拶でお客さまを迎えます。若手の行員が多く活気があり、切磋琢磨しながら日々成長している支店です。



きらやか銀行 長井支店 沼澤 千鶴 行員 (カスタマーコンシェルジュ)

お取引先企業を訪問させていただき、日中は仕事等でご来店が難しい従業員さまのお役に立ち、喜んでいただけるよう努めています。何かあった時に相談しやすい、お客さまにとって一番近い銀行員を目指しています。



長井支店



あやめ公園



フラワー長井線



さくらんぼ東根支店のある街 山形県東根市

東根市は、生産量日本一のさくらんぼをはじめとする各種フルーツの生産が盛んであり、隣接する宮城県仙台市へのアクセスも良い自然豊かな地域です。国指定特別天然記念物の「東根の大ケヤキ」は、樹齢1,500年以上とも言われておりそのスケールに圧倒されます。近くには「さくらんぼ東根温泉」があり、温泉街の中にある足湯も人気です。

さくらんぼ東根支店は旧商店街に位置し、地元に着した支店です。アットホームな雰囲気、明るくお客さまをお迎えます。地元の方に愛され、相談しやすい地域金融機関を目指してまいります。



きらやか銀行 さくらんぼ東根支店 後藤 恵理子 代理 (カスタマーコンシェルジュ)

お取引先企業の従業員さまへ、資産運用や各種ローン等のご相談のほか、サービスのご案内などを行っております。お客さまの声に耳を傾けて丁寧な対応を行うことにより、最適提案へとつなげていけるよう日々務めてまいります。



東根支店



さくらんぼ
東根温泉



東根の大ケヤキ

※カスタマーコンシェルジュ…企業にお勤めの従業員の皆さまの資産形成をお手伝いします。

＼ きっと気になる情報が見つかりますよ。 /



荒井・南小泉支店のある街

宮城県仙台市若林区
なないろの里

仙台市若林区なないろの里（荒井西地区）は、仙台駅から東へ5kmほど離れた地域です。東日本大震災後、土地区画整理事業が進められてきましたが、平成30年6月に、町名を現在の「なないろの里」とし、新たなスタートを切りました。

なないろの里の南側に隣接する霞目地区には、江戸時代に活躍した、霞目地区出身の力士「谷風」のお墓があります。谷風は、第四代の横綱であり、後の横綱の模範となったとされる人物で、お墓には今でも花が供えられるなど、地域住民に愛され続けています。

荒井・南小泉支店では、今後も地域のさらなる復興・発展に向けて、職員一同、尽力してまいります。



仙台銀行 荒井・南小泉支店 佐藤 玲奈 行員

預金検証業務を担当しております。新しいまち「なないろの里」で、お客さまに信頼され、愛される銀行員になれるよう、今後も努力してまいります。



荒井・南小泉支店



谷風の墓



角田支店のある街

宮城県角田市

角田市は宮城県南部に位置する町で、今年10月に市制60周年を迎えました。そんな魅力いっぱいの角田市では、食材の「米、豆、梅」と宇宙と未来への「夢」、さらに歴史的魅力を象徴する「牟宇姫（むうひめ）」の5つの「め」でブランドづくりに取り組んでいます。

おいしいお米や豆、梅といった食材を味わったり、スペースタワー・コスモハウスでH-IIロケットを見たり、高蔵寺や郷土資料館で歴史に触れたりと様々な楽しみ方ができる町です。来年春には、賑わいの拠点となる道の駅が完成予定です。ぜひ、角田市へ足を運んでみてください。



仙台銀行 角田支店 大久保 正太 行員

お客さまの大切な資産をお預かりし、運用のご提案などを行っております。お客さま一人ひとりに合ったより良いご提案を行えるよう、お客さまに寄り添った対応を心掛けています。



角田支店

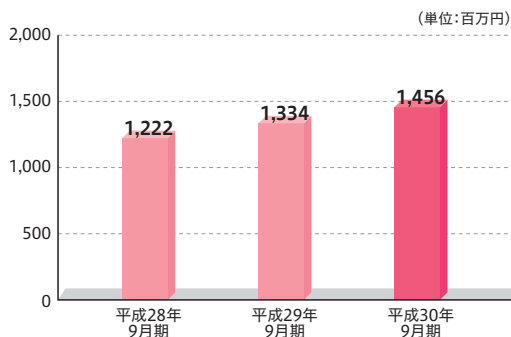


H-IIロケット

業績ハイライト(単体)

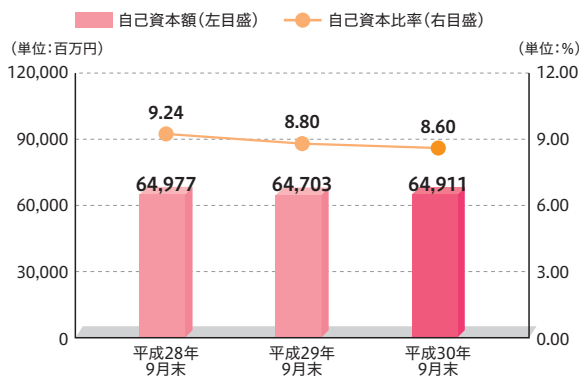
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、経費が減少したことなどから、前年同期比1億22百万円増加の14億56百万円となりました。



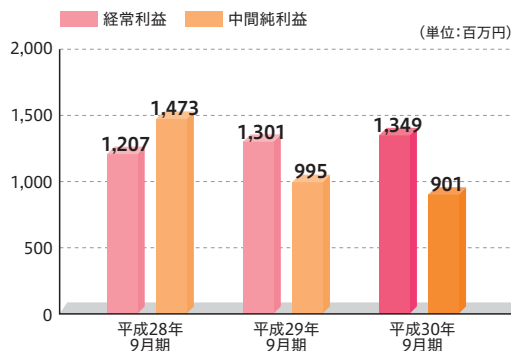
自己資本比率の状況

単体の自己資本比率は、中小企業向け貸出に注力したことに伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成29年9月末比0.20ポイント低下の8.60%となりました。



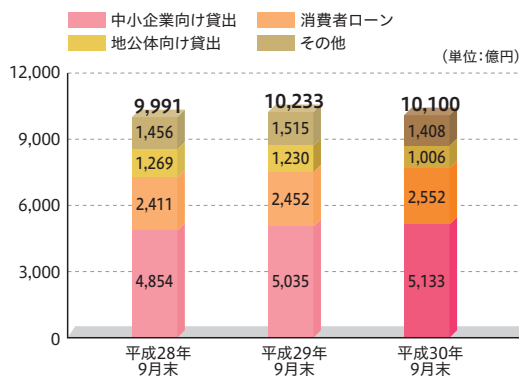
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比48百万円増加の13億49百万円、中間純利益は、前年同期比93百万円減少の9億1百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、中小企業向け貸出が増加したものの、地方公共団体向け貸出や市場性ローンを政策的に減少させてきたことから、平成29年9月末比133億3百万円減少の1兆100億67百万円となりました。

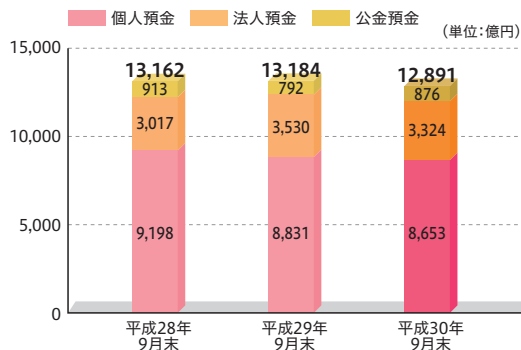


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

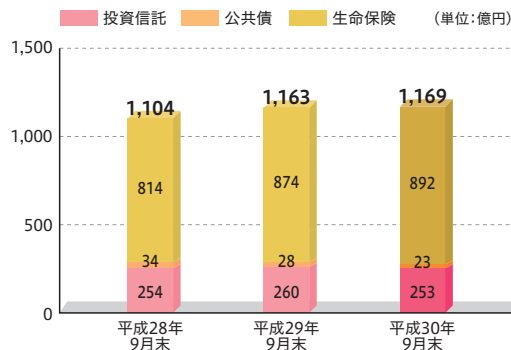
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、公金預金が増加したものの、個人預金および法人預金が増加したこと、平成29年9月末比293億10百万円減少の1兆2,891億67百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの保険運用ニーズが依然として高く、生命保険残高が増加したことなどから、平成29年9月末比5億81百万円増加の1,169億47百万円となりました。

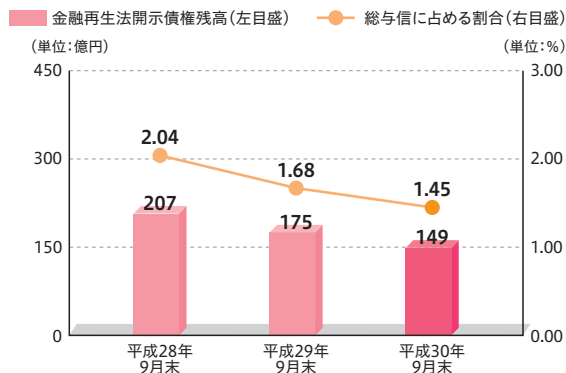


(注)生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成29年9月末比25億80百万円減少の149億92百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成29年9月末比0.23ポイント低下の1.45%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



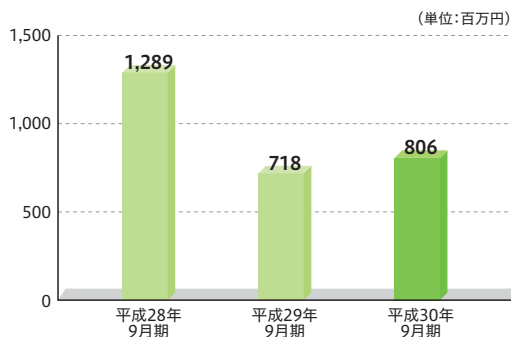
■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

業績ハイライト(単体)

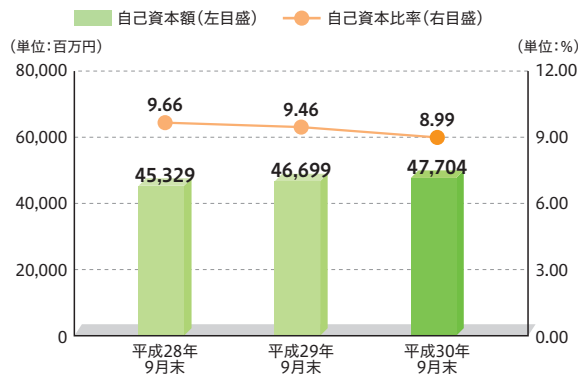
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、資金利益が減少したものの、国債等債券損益を除く其他業務利益、役務取引等利益が増加したことに加え、経費が減少したことから、前年同期比87百万円増加の8億6百万円となりました。



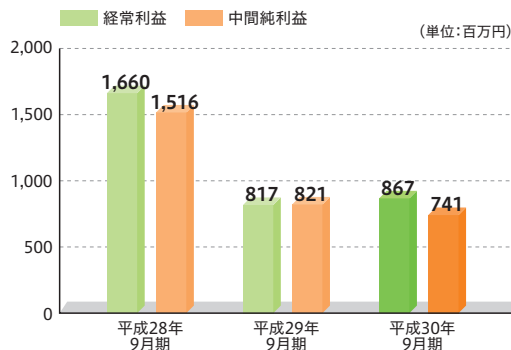
自己資本比率の状況

自己資本比率は、中間純利益を7億41百万円計上し、自己資本額(分子)が増加しましたが、貸出金残高の増加に伴いリスクアセット(分母)が増加したことなどから、平成29年9月末比0.47ポイント低下の8.99%となりました。



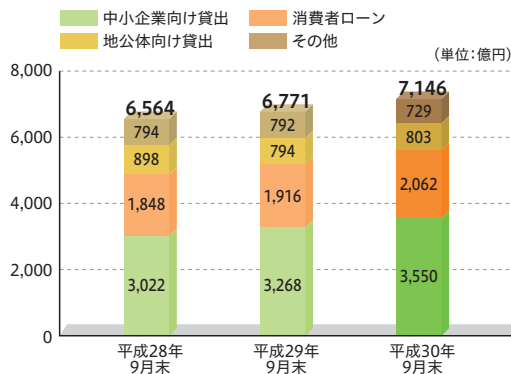
経常利益・中間純利益の状況

経常利益は、前年同期比49百万円増加の8億67百万円、中間純利益は、前年同期比80百万円減少の7億41百万円となりました。



貸出金の状況

貸出金残高は、お客さまの様々な資金需要への迅速かつ積極的な対応により、中小企業向け貸出や住宅ローンが増加したことなどから、平成29年9月末比374億69百万円増加の7,146億64百万円となりました。

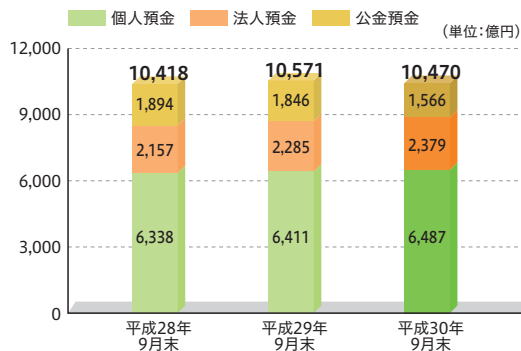


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支のことを指します。

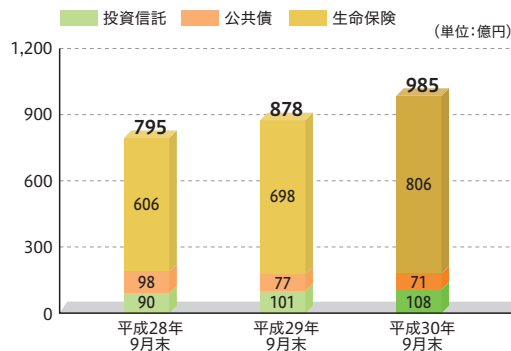
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、法人預金と個人預金が増加したものの、公金預金の減少により、平成29年9月末比100億99百万円減少の1兆470億7百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、お客さまの資産運用ニーズへの対応により、生命保険残高が増加したことなどから、平成29年9月末比107億44百万円増加の985億82百万円となりました。

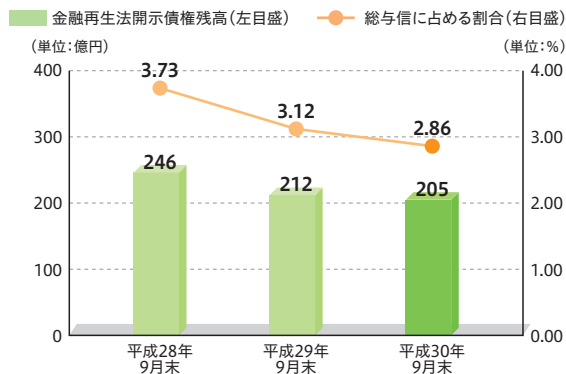


(注)生命保険残高は、有効契約残高を記載しております。

金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、平成29年9月末比7億39百万円減少の205億30百万円となりました。総与信額に占める割合は、平成29年9月末比0.26ポイント低下の2.86%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。
 ■ 中間純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

株主の皆様へ

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日および中間配当を行うときは9月30日。
基準日	定時株主総会の議決権の基準日については、3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
公告方法	電子公告といたします。 [公告掲載ホームページアドレス] https://www.jimoto-hd.co.jp/ ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞、仙台市において発行する河北新報および山形市において発行する山形新聞に掲載して行います。

株式事務取扱場所

株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号	みずほ信託銀行 株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00 ~ 17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でも取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払		みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。

お問合せ先

みずほ信託銀行 株式会社

 **0120-288-324**

上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の改正により、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成30年分の確定申告の添付資料としてご使用ください。
なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成30年分の確定申告の添付書類としてご使用いただける支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 じもとホールディングス
〒980-0811 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-722-0011(代表)
<https://www.jimoto-hd.co.jp/>

株式会社 きらやか銀行
〒990-8611 山形市旅籠町三丁目2番3号
TEL.023-631-0001(代表)
<https://www.kirayaka.co.jp/>

株式会社 仙台銀行
〒980-8656 仙台市青葉区一番町二丁目1番1号
TEL.022-225-8241(代表)
<https://www.sendaibank.co.jp/>